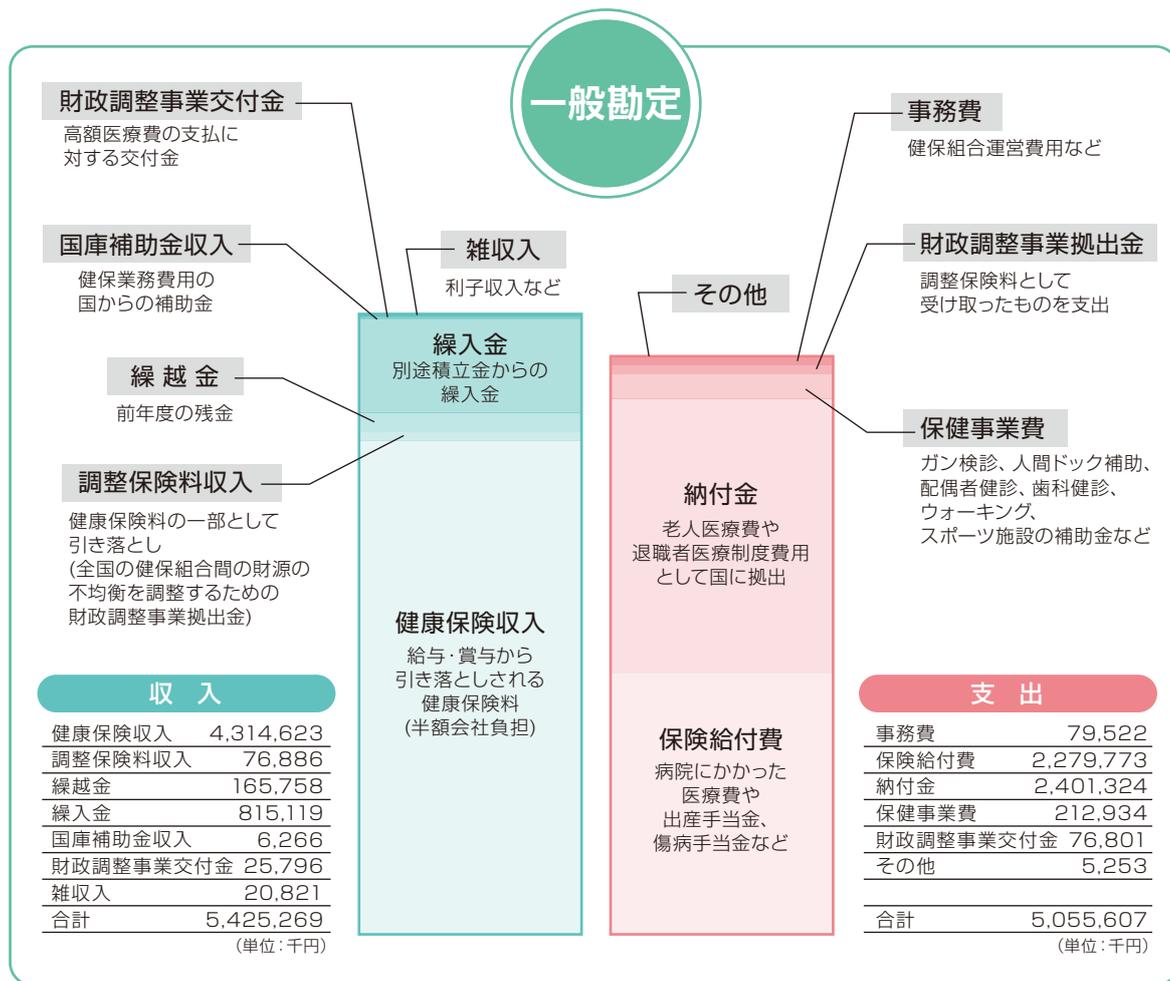


# 平成23年決算報告

平成24年7月9日開催の第75回組合会において、平成23年度の収入支出決算及び決算残金処分が承認可決されました。繰入金や繰越金等を除く**一般勘定経常収支は約6億円の赤字決算となりました。**



**保険給付費は前年度比 107% !**  
(1億5千万円増)

**給付金は前年度比 137% !**  
(6億5千万円増)

## 決算報告

(単位:千円)

収入決算額	5,425,269
支出決算額	5,055,607
差引残額	369,662

(単位:千円)

決算残金処分内訳	
準備金	209,058
別途積立金	0
翌年度繰越金	160,533
財政調整事業繰越金	71

保険給付費と納付金の増加が止まりません。前年度と比べ、健保加入者の人数は横ばいにもかかわらず、社員の医療費は109%、家族の医療費は103%となりました。社員の医療費の中では、依然として「薬剤」「歯科」「新生物(良性を含むガン等)」がトップ3で、いずれも増加しています。歯科においてはセルフケアの大切さと歯科健診の活用、ガン対策としては検診を受診して、早期発見、早期治療に努めてください。特にガン検診で有所見となった方は、必ず再検査等の事後措置を受けていただき、検査結果を確定することが大切です。

## 介護勘定

**収入**

介護保険収入	219,870
繰越金	2,215
繰入金	0
合計	222,085

(単位:千円)

**支出**

介護納付金	220,925
介護保険料還付金	0
合計	220,925

(単位:千円)

## 決算報告

(単位:千円)

収入決算額	222,085
支出決算額	220,925
差引残額	1,160

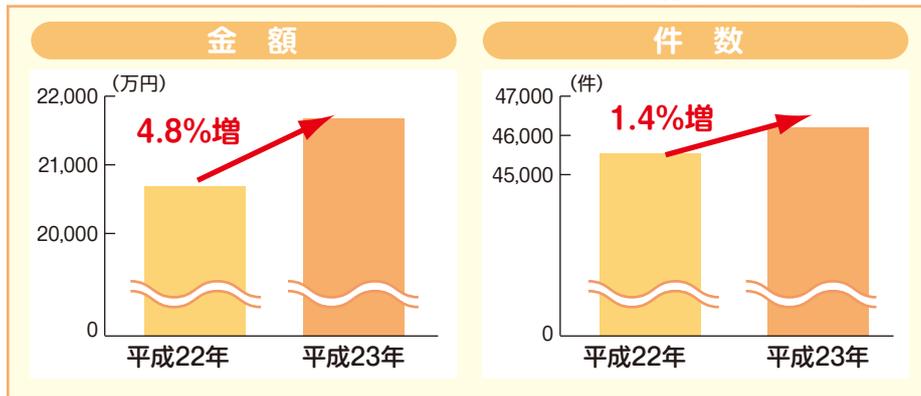
決算残金処分内訳	準備金 1,160
	翌年度繰越金 0

# ジェネリック医薬品 利用者、増加中!

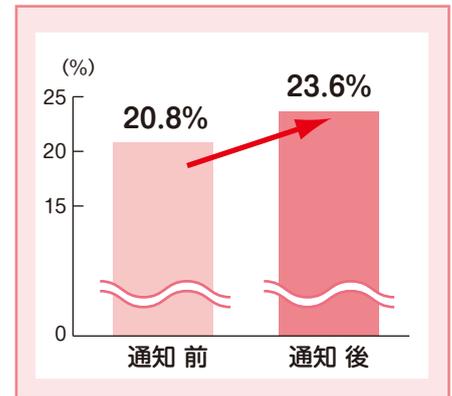
【ジェネリック医薬品利用促進(差額通知発行)の概要】  
 対象者：6歳～74歳の方で、ジェネリック医薬品への  
 変更可能な薬品使用者（変更差額800円以上）  
 時期：年4回（6月・9月・12月・3月）  
 件数：2,540件（平成23年度年間通知実績）

健保財政健全化の医療費対策として、  
 昨年6月から実施している「ジェネリック医薬品利用促進」の実施状況について報告します。

【薬剤費の現状】 差額通知を開始した昨年6月から、  
 今年3月までの薬剤とその前年同時期との比較



【ジェネリック使用率】



## 通知を行った方のジェネリック使用率は増加しています!

1年後の  
 ジェネリック使用率は  
 20.8%⇒23.6%へ増加

ジェネリックの使用率は増加していますが、金額4.8%増から分かるように医療費削減効果に至っていないのが現状です。

一方で、「ジェネリック医薬品利用促進のお知らせ」の通知を発送したうちの12%の方に、切替えによる医療費削減効果が見られました。一人ひとりの額は少なくとも、ワールド健保被保険者・被扶養者約2万人の意識が変われば、大きな金額になります。

継続的に通知する事で切替え行動を促し、医薬品の知識の提供から自己管理能力を高めてもらうことにより、全体医療費が適正化になるよう図っていきます。

【比較月】

通知前：平成23年3月～5月の平均  
 通知後：平成24年3月～5月の平均

## 健康保険組合から被扶養者実態調査のお知らせ

医療費適正化のため、現在、被扶養者実態調査を行っております。  
 実態調査対象の方には、すでに調査表をお送りしています。



今回の調査対象となっていない被扶養者の方でも、今後結婚したり、就職したり、パートやアルバイト等を開始して扶養要件を満たさなくなった場合は、速やかに削除申請を行って下さい。  
 削除せずに、認定されたままの方がいますと、仮に病院に行かなくてもそれだけで高齢者医療の納付金として年間一人当たり約5万円を国に納めることとなります。

<報告>

平成23年度実施の被扶養者実態調査は、1,358人の対象者のうち、100人を超える方の扶養削除の申請がありました。  
 ご協力ありがとうございました。

提出期限：平成24年8月末日

※提出期限厳守をお願いします。

扶養削除申請に関して、詳しくは会社の窓口（給与厚生課など）、または、ワールド健康保険組合へお問い合わせください。

ワールド健康保険組合

☎外線 (078) 302-8185  
 ☎内線 711-4631